

若潮だより

3月号

福山市立内海中学校

2007年(平成19年)3月20日発行

【学校教育目標】

人間性豊かで、知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成

E-mail chu-utsumi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp

URL http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-utsumi/

花の便りが聞かれる季節となりました。さて、今回は「4月行事」、「未来の自分レポート(2年)」、「絵ハガキと短歌(1年)」、「第34回卒業証書授与式のようす」を紹介します。

4月行事

日	曜	行事など
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	就任式, 始業式
7	土	
8	日	
9	月	入学式(14:00~), 3年確認テスト
10	火	離任式(15:00~), 3年確認テスト
11	水	新入生オリエンテーション(生徒会・部活紹介, 委員任命, 生徒委員会)
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	

日	曜	行事など
16	月	家庭訪問, PTA 役員会・評議員会
17	火	家庭訪問, 体力診断テスト
18	水	家庭訪問
19	木	家庭訪問, 部活結成
20	金	家庭訪問, 歯科検診
21	土	
22	日	
23	月	生徒総会
24	火	全国学力学習状況調査(3年)
25	水	内科検診
26	木	授業参観, PTA 総会, 学校説明会
27	金	
28	土	オープン硬式卓球選手権
29	日	昭和の日
30	月	振替休日

< 5月行事 > 12日(土) 運動会準備
13日(日) 第22回運動会

21日(月) ~ 22日(火) 中間試験
28日(月) 地域学習

未来の自分レポート(2年)

2年生では、総合的な学習の時間(若潮タイム)をつかって、職業について調べたり、職場体験学習や修学旅行中の農業・酪農体験を通して学んだことをもとに、未来の自分を想像力豊かに思い描いて「未来の自分レポート」を作成しました。さんの「未来の自分レポート」を紹介します。

私は現在25歳で、小さい頃からの夢だったアニメーターの仕事につき、社長代理をしています。

もともと、絵には興味があり高校は工業科で染織の勉強をし、卒業後は3年間専門学校で学びました。その後は、東京へ上京し、アニメーターの会社の試験、面接を受け、面接のときには緊張のあまりトイレへ行ったのを今でも覚えています。見事に採用されたときは、大声で「ヨッシャー! 受かったゾー!」と叫んだこともハッキリと覚えています。

私が、今就いている社長代理は責任が重く、社長のいない日は私がまとめていかなくてはなりません。なめてかかれば、すぐにボロが出てしまい、社長代理に任命されてからの数ヶ月間は、こんな仕事やめてやると何回も挫折しました。そんな私も今では、社長代理というポジションに誇りを持つことができました。

ある日、私の勤めている会社に新人が来るということを聞きました。どんな人だろうと思いながら、朝会が始まりました。部屋に入って来た新人はガラの悪そうな男で、ほんとうにこんな人がアニメーターとしてやっていけるのかと思いつつ自己紹介を始めたので耳を傾けました。男は木村拓也という人物でした。キムタクかよと思ったけど、そこはツッコまず……。それがそれが、木村拓也はよく見れば男前でキムタクに似ているところもありました。軽く私の自己紹介をし、どのくらい知識があるのかを調べようとしたとき、キムタクは頬杖をついて居眠りをしていました。ムカッと来たけどここは大人になり、こらえました。キムタクを起こし、質問してみると以外と知識はあるようでした。その後は絵を描く手順を教えていたら、以外にも絵を描くのが楽しいというのでビックリしました。そのところは、私も共感できます。キムタクのおかげで改めて絵を描く楽しさを実感しました。

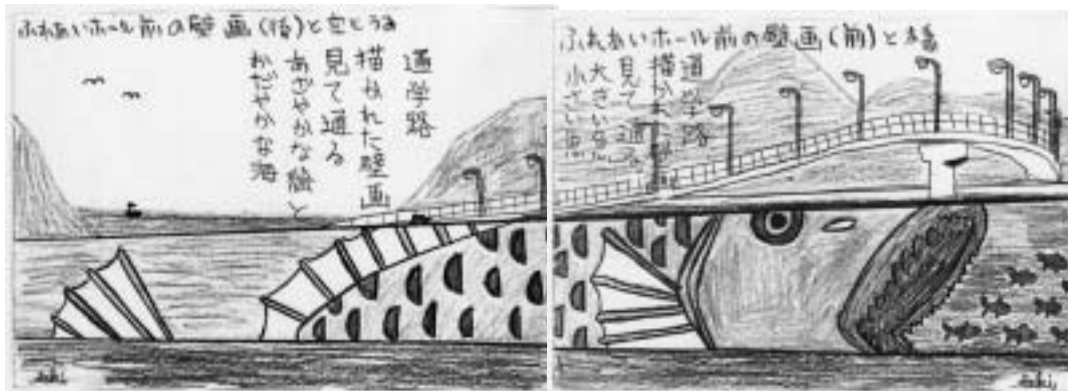
私には夢があります。それは、より多くの人に自分の作ったアニメを見てもらうことです。そして、アメリカなど外国にも放送できるようなアニメを作ることです。そのため今私は、日ごろ絵を描いて絵を描く楽しさを忘れないことと、パソコンなどでアニメーションについて調べています。

夢の実現に向けて頑張ります。

絵八ガキと短歌（1年）

1年生では、総合的な学習の時間（若潮タイム）をつかって、内海町の自然をもっとよく知ろうということで、フィールドワークをして、内海町の自然を「絵八ガキ」と「短歌」で表現しました。

さんの2枚綴りの「絵八ガキ」と「短歌」を紹介します。



第34回卒業証書授与式の様子

第34回卒業証書授与式が3月10日（土）におこなわれ、18名の生徒が、在校生、保護者、地域の方々に見守られながら、内海中学校を卒業しました。答辞を紹介します。

答 辞

穏やかな春が、ゆっくりとした足取りで、この内海中学校にも訪れてきました。

そして、このよき日に、私たち十八名は、互いに育んできた友情と、三年間のかけがえのない思い出を胸に抱き、内海中学校を卒業します。

本日は、私たちのために、大勢の皆様が、卒業証書授与式にご出席くださいました。誠にありがとうございます。卒業生を代表して、心からお礼を申し上げます。また、さきほどより、校長先生をはじめ、来賓の方々、在校生の皆さんから、温かい励ましの言葉をいただきました。私たちは、その御言葉を聞き、多くの方々に見守られ、支えられていたことを改めて実感いたしました。

さて、思い返してみると、ぶかぶかな制服の袖に腕を通して、新しい仲間と共に、不安と希望を抱き、内海中学校の門をくぐったあの日から、私たちの内海中学校の生徒としての生活が始まりました。

中学校生活の思い出の一つが、部活動です。最初は、礼儀や練習の厳しさに、なかなか慣れることができませんでしたが、仲間や先輩、顧問の先生方に励まされ、がんばることができました。二年生になり、少しずつ試合にも参加できるようになりました。初めての試合では、緊張し、練習通りのプレイができませんでした。しかし、練習を積み重ねることで、試合運びももうまくなり、厳しい試合を戦い抜く精神力が身につきました。このように、三年間、最後まで部活動を頑張ることができたのは、励ましあった仲間、技術や礼儀を教えてくださった先生方や先輩、つらい練習にもついてきてくれた後輩、いつも見守ってくれた家族がいたからだと思います。

二年生では、九州地方へ修学旅行に行きました。熊本城見学、初めて見る活火山の阿蘇山、農業体験など、ここでは言い尽くせないほどのたくさんの経験をつむことができました。阿蘇山ではなかなか見ることでできない火口湖をのぞむことができ、エメラルドグリーンの湖面に感動しました。二泊三日と短い間でしたが、出発から帰宅まで、仲間との会話は、とぎれることがなく、とても楽しい思い出をつくることができました。

三年生では、運動会が一番の思い出です。当日は、雨、風吹き荒れる不安定な天候でしたが、最高の演技をすることができました。組体操では、男子も女子も練習に励み、四段、五段のピラミッド、三段タワーなど、危険を伴う技にも挑戦しました。一人ひとりが力を出しきり、一致団結することで、今年のテーマ通り『底力』をみせることができました。観客の皆様からの拍手も、私たちをふるい立たせてくれました。

他にも、『新入生歓迎ウォークラリー』『地域学習』など、さまざまな行事が昨日のこのように思えます。これらのすばらしい思い出は、多くの方々の支えなくしてはあり得なかったと思います。

先生方には、なんと御礼を申し上げれば良いのかわからないくらい、感謝の気持ちでいっぱいです。授業中にしゃべったり、注意されて口答えをした私たちを、厳しくも、優しい温かい目で見守ってくださいました。そして、どんなささいなことでも相談に乗ってくださったことが、つらいときの心の支えになりました。先生方とこの三年間共に過ごせて本当によかったです。

後輩のみなさんは、いつも私たちに協力をしてくれました。部活動の試合では、大きな声で応援してくれたので、落ち着いて、思い切り競技することができました。行事のときには、その場を盛り上げるムードメーカーになってくれたので、色々な行事を楽しく行うことができました。

そして、今まで一番近くで見守ってくれた家族。自分を一番理解してくれていることは分かっているのに、私たちはなかなか素直になることができませんでした。そのために、色々心配をかけてしまいました。けれども、家族の愛情に包まれ、支えられて、ここまで成長できたことに、とても感謝しています。

今日、私たち十八名は、それぞれ違う道に進んでいきます。目指すものは違いますが、それぞれの目標の前には、多くの困難が待ち受けていると思います。しかし、私たちは、この困難から逃げ出すことは決してありません。『この道を行けばどうなるものか。あやぶむなかれ。あやぶめば道はなし。』私たちは、一步一步着実に、将来への道を切り開いていきます。

最後になりましたが、私たちが過ごしてきた、この内海中学校の発展をお祈りして、お別れの言葉とさせていただきます。

三月十日

卒業生代表

